

2023年7月18日
一般財団法人日本エネルギー経済研究所

アブドラ国王石油研究センター（KAPSARC）との協業に向けた
覚書の再調印について

一般財団法人日本エネルギー経済研究所（理事長：寺澤達也、以下、日本エネルギー経済研究所）は、7月16日、サウジアラビア王国のシンクタンクであるアブドラ国王石油研究センター^{*1}（所長：Mr. Fahad Alajlan、以下、KAPSARC）と今後の研究調査活動の連携・協力に関する覚書に再調印いたしました。調印は、岸田首相のサウジアラビア王国公式訪問中に開催された日・サウジビジネスラウンドテーブルの会場である The Ritz-Carlton Jeddah（サウジアラビア王国ジェッダ）で行われました。

サウジアラビア王国は世界有数の産油国であり、石油市場動向を左右する石油輸出国機構（OPEC）並びに OPEC プラスにおいて最も影響力のある国です。また、CO2 排出削減に貢献する水素・アンモニアのサプライチェーン構築に積極的に取り組み、化石燃料の脱炭素化を含む炭素循環経済の構築推進を図るなど、カーボンニュートラル実現へのエネルギートランジションにおいて極めて重要な役割を担っています。

日本エネルギー経済研究所は2022年8月5日に KAPSARC と覚書の調印^{*2}を行うなど、これまでも協力関係を深めてきました。今回、カーボンニュートラル実現・エネルギー安全保障確保に向けてより具体的な取り組みにつなげるため、共同研究テーマとして水素、アンモニア、合成燃料、合成メタン、CCUS（Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage）、DAC（Direct Air Capture）等を明記した覚書へ改訂し再調印いたしました。

今後も、本覚書に基づき、日本エネルギー経済研究所と KAPSARC は共同研究調査、イベントの共催、国際会議での情報発信などで協業を進めてまいります。

以上

^{*1} アブドラ国王石油調査研究センターはサウジアラビア王国において、エネルギー経済、政策、技術、環境等、多様な研究を行っている王立のシンクタンク（King Abdullah Petroleum Studies and Research Center : KAPSARC）

^{*2} アブドラ国王石油研究センター（KAPSARC）との協業に向けた覚書の調印について
2022年8月5日プレスリリース：<https://eneken.ieej.or.jp/press/press220805.pdf>

<広報担当窓口>

（一財）日本エネルギー経済研究所
研究戦略ユニット 中山・北條・宇野

Mail: ieej-mail@tky.ieej.or.jp

電話:03-5547-0211 FAX:03-5547-0223